

平成27年度 図画工作経営案 主任（ 椎木 ）

構成	1年	椎木	2年	内田	3年	今宮	4年	宮田
	5年	松永	6年	瀧口				
本年度の重点目標・努力点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 題材との出会わせ方を工夫し、一人一人の児童の見方や感じ方、表現のよさを認め、個に応じた指導を行うことにより、材料やテーマなどに対する関心や、自分の思いを表現しようとする意欲を高め、つくりだす喜びを味わうことができるようにする。 ○ 材料や場所への働きかけ、話し合い、お話づくり、アイデアスケッチなどの活動を工夫することにより、見たことや感じたこと、材料などから表したいことを思い付き、形や色、用途や構成などを考える力を育てる。 ○ 材料・用具に関する指導を確実に行うとともに、手や体を使い、想像力を働かせながら児童が選んだり試したりできる活動の場や学習展開等を工夫することにより、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫する力を育てる。 ○ 見付けたことや感じたことなどを言葉にしたり、友達と話し合ったりする活動を充実させ、自分の見方や感じ方で形や色、作品等のよさや美しさを感じ取る力を育てる。 ◇ 育てたい資質や能力を明確にし、学習指導要領の内容〔共通事項〕に示された「自分の感覚や活動を通して形や色などをとらえること」「自分のイメージをもつこと」を考慮して、題材や指導の工夫改善を図る。 ◇ 思いや考えを言葉にして整理したり交流させたりする等、言語活動の充実を図ることにより、感じ取る力や思考する力（発想や構想の能力、表現の能力、鑑賞の能力）を一層豊かに育てる。 ◎児童が自分の表現意図に合う表現形式や技法、材料などを選択し表現できるような題材や指導の工夫・改善を図る。 							
分担	<ul style="list-style-type: none"> ○ 夏休みの作品募集（絵や木工作品など）・・・夏休み前に部会で割り振る ○ 賞状作成・・・松永 ○ 児童画展・・・椎木 ○ 日専連・・・内田 							
備品整理	<ul style="list-style-type: none"> ○ 夏休みに、図工備品の整理・整頓をして、使いやすいようにする。 電動糸のこ・焼きがまの整備・点検を行う。 ○ 児童画展前には各学年で必要なものを聞き、購入する。使用する練り板やローラー等は、学年ごとに分けて配布する。 							
環境整理	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3階教室で使用する乾燥棚は年間を通して3階に置く。 ○ 準備室の棚の鍵は、刃物類以外はかけない。 ○ 作品は、長時間おきっぱなしにしないように各学級で気をつける。 ○ 図工室に昨年度児童画展の入賞作品を掲示して鑑賞できるようにする。 							
年間計画	1 学期		2 学期			3 学期		
	7月 ・夏休み作品募集 ・備品整理		1 1月 ・児童画展			3月 ・備品整理		